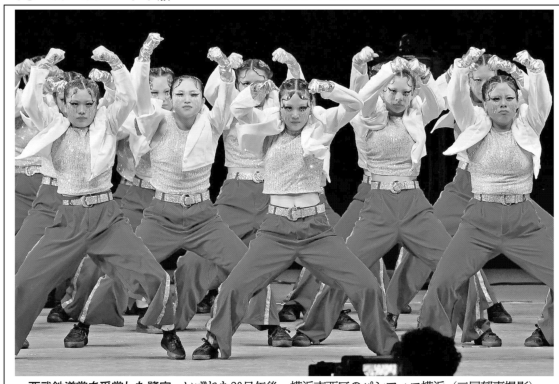

西武鉄道賞を受賞した鷺宮＝いずれも20日午後、横浜市西区のパシフィコ横浜（三尾郁恵撮影）

エースコックスーパーカップ特別賞を受賞した実践学園

産経新聞社賞を受賞した葛飾野

エネルギッシュな演技炸裂
狛江が決勝大会へ進出

パシフィコ横浜（横浜市西区）で20日に開催された「第18回日本高校ダンス部選手権　ビッグクラス（スーパーカップダンススタジアム）」の全国準決勝大会（13～40人）に、都内から15校が出場し、狛江が決勝大会に進出を果たしたほか、鷺宮が西武鉄道賞、実践学園がエースコックスーパーカップ特別賞、葛飾野が産経新聞社賞を受賞した。

三田はメンバー全員で考えたという「還魂」をテーマにパフォーマンスを披露。死んだ者が生きることを執念深く追い求め、魂をつかみ取るまでの様子を表現するなどエネルギッシュな演技で観衆を魅了した。息づかいや口の形、吐息を全員で統一するなど細部までこだわり、会場中を独特の世界観に引き込んだ。演技終了後、納得がいかず悔し涙を見せるメンバーもいたが、2年で部長の井樋ほのかさん（16）は「後悔はない。メンバーに感謝の思いを伝えたい」と振り返った。

駒大高は、自分たちで機様をアレンジしたという衣装を身にまとい、ヒップホップダンスで光と闇を表現した。ズボンのポケットに入れていた小型のライトを手に持ち、白と赤に光らせる演出も取り入れ、会場を盛り上げた。3年で部長の新田梨乃さん（17）は「予選と違い、みんながやり切って表情だった。会場を自分たちの世界観に巻き込めた」と笑顔を見せた。

このほか都内からビッグクラスには、品川エトワール女子、目黒日大、広尾学園、宝仙学園女子部、武蔵丘、二松学舎大付、明治、富士森、町田総合が出場した。

主催　ストリートダンス協会、産経新聞社
後援　スポーツ庁、全国高等学校体育連盟、横浜市、横浜市教育委員会
特別協賛　ジャルエトワール、スコック
オフィシャルパートナー　武蔵丘、ポカリスエット、西武鉄道
公式表信サイト　FOD

誇りと使命感　決意新たに

都民の警察官表彰式　5氏に栄誉

受章した馬場一哉警部、野中泰樹警部補、早坂賢治警部補、大槌美絵警部補、坂本淳二警部補（前列左から）と家族＝20日午後、千代田区の大手町サンケイプラザ（鴨志田拓海撮影）

都民の安心と安全を守るため、日夜尽力する警視庁警察官約4万3千人の中から優秀な警察官に贈呈される第95回「都民の警察官」（産経新聞社、フジテレビジョン、文化放送、ニッポン放送主催、フジサンケイグループ後援）の表彰式が20日、千代田区の大手町サンケイプラザで開催された。純銀製の「都民の警察官章」をつけた受章者5人はさらなる活躍を誓った。

受章したのは小松川署（元保安課）の馬場一哉警部（51）▽警備1課の野中泰樹警部補（50）▽大井署交通課の早坂賢治警部補（58）▽荒川署刑事組織犯罪対策課の大槌美絵警部補（52）▽五日市署坂本駐在所の坂本淳二警部補（58）―の5氏。

表彰式では産経新聞社の近藤哲司社長が「警察の役割も時代とともに多様化し、対応しなければならない領域は幅広くなっている。都民の方々が皆さまに寄せる厚い信頼に応えてほしい」とあいさつした。

小池百合子知事は祝辞で、「世界に誇る東京都の治安はみなさんが崇高な使命感を持ち、日夜地道な活動を積み重ねられているからこそ維持されている」とたたえた。

迫田裕治警視総監は「受章を励みに、積極果敢な職務執行により、都民国民の安全の確保のために活躍することを期待している」と受章者を激励した。

受章者を代表し、馬場警部が「ひたむきに誇りと使命感を持って職務に取り組み、名誉ある章をたまわった。決意を新たに一層職務に邁進し、都民の期待と信頼に応えたい」と述べると、会場から大きな拍手が送られた。

馬場警部の妻、絵里子さん（55）「周りの皆さまに支えていただいての受章だと思う。都民のために活躍できるようサポートしていきたい」

野中警部補の父、敏昭さん（74）「多くの方に支えられ、栄誉な章をいただき大変ありがたい。今まで通り都民の暮らしのために努めてほしい」

早坂警部補の妻、かよさん（60）「周りのみなさんに感謝の気持ちでいっぱい。これからもいい見本となって交通警察の魅力を発信してほしい」

大槌警部補の夫、淳さん（53）「苦労しているのを隣で見てきたので、受章は喜ばしいこと。最後まで体に気を付けて頑張ってほしい」

坂本警部補の妻、文代さん（54）「地域のみなさんの支えもあって受章でき、ありがたい。駐在としてこれからもがんばってほしい」

東京

東京総局
〒100―8077
東京都千代田区
大手町1―7―2
電話　03・3275・8747
FAX　03・5255・6634
shuto@sankei.co.jp
広告　03・3275・8654
購読申し込み・配達・集金
0120・34・4646
紙面・記事
0570・046460
Web
https://www.sankei.com/region/

（22日）
旧関6月29日
〈仏滅〉

あすのこよみ

月齢	28.3
月出	5：05
月入	18：22
日出	3：36
月入	17：57
満潮	3：44
	17：19
干潮	10：33
	23：00
大潮	（東京）

【協賛】東京防犯協会連合会▽東京都交通安全協会▽東京都警察懇話会▽東京警友会連合会▽日本自動車連盟▽生命保険協会東京都協会▽東京ガス▽サンケイビル▽富国生命保険▽共栄火災海上保険▽HESTA大會

ベビーカステラ販売者を脅迫容疑
暴力団代表ら3人逮捕

キッチンカーでベビーカステラを販売していた男性を脅迫したとして、西新井署は、暴力行為等処罰法違反などの疑いで、指定暴力団極東会傘下組織代表の服部純也容疑者（47）＝さいたま市＝ら男3人を逮捕した。服部容疑者は容疑を否認している。逮捕容疑は1月2日、足立区の西新井大師近くで、初詣客にベビーカステラを販売していた50代男性に、「ここで勝手に商売したら駄目だから」―明日もここで商売をしてたら店をぶち壊すから」―などと脅したとしている。

書道初心者向け フォーラム開催
産経国際書展

第42回産経国際書展（産経国際書会、産経新聞社主催）の特別企画「フォーラム『今さら聞けない書の疑問』」が20日、上野の東京都美術館で開催され、約150人の書道ファンや初心者らが、書家たちの丁寧なアドバイスに熱心に耳を傾けた＝写真（高橋天地撮影）。

書作品については、初心者らから「何の字が書かれているのか」「鑑賞法を教えてほしい」「筆の持ち方は？」などの声が多く寄せられており、今回の企画が実現した。フォーラムでは漢字、かな、詩文書、前衛書などの各分野で、第一線で活躍している産経国際書会の書家5人がパネリストとして参加した。

永田龍石さんは田骨文字から楷書まで漢字の各書体を解説し、青木錦冊さんは「太細の変化などを楽しんでほしい」とかなの魅力を紹介。建部恭子さんは「好きな詩や文を楽しく多様に表現できるのが詩文書の醍醐味」と強調した。

また、町山一祥さんは「読めても読めなくてもいいのが前衛書だが、作品の根底には臨書を大切にする心がある」と訴えた。漢字を専門とする木村大曜さんも「臨書を軽視すべきではない」と語った。同書展は東京都美術館で21日午後1時まで開催。

白石温麺といえば「つりがね印」！

創業明治30年の老舗、白石温麺の専門店「きちみ製麺」が誇る看板商品です。通常の素麺に比べひとまわり太く、しっかりとした歯ごたえと麺そのものの味をお楽しみいただけます。温めても冷やしても、様々な食のシーンでご利用いただける万能麺です。

初回限定セット　つりがね温麺（うーめん）

1セット 12食分入り（100g×4束×3袋）　ご注文は3セットまで

通常価格 1,555円（税込）▶1,059円（税込）

2セットのご注文で▶送料無料

さらに!! 3セットのご注文で▶送料無料＋光庵（100㎖）めんつゆ付

※沖縄県は送料無料対象ではありません。ご了承お願いいたします。

■送料　東北～中部：660円、北海道・関西：880円、中国～九州：990円、沖縄：2,200円

●ご注文はこちらから　受付時間／9:00～17:00　定休日／年末年始（12月30日～1月4日）

☎050-1880-3675

●1家族1回限り3セットまで。●賞味期限約2年。●商品お届けまで約7日●支払いは代金引換（手数料330円）または、郵便・コンビニ振込（後払い）●返品・交換は、商品に不備があった場合のみ商品到着後7日以内。●お預かりした個人情報は商品の発送・サービスのご案内のみに使用いたします。

〒989-0275 宮城県白石市本町46　奥州白石伝承四百年　株式会社きちみ製麺